



3.15 レオマ高原CUP チャリティゴルフ大会

四国地域のゴルファーの育成と交流を目的としたプロアマゴルフチャリティー選手権大会がレオマ高原ゴルフ倶楽部で開催されました。プロ30名・アマ97名が参加し、プロからのアドバイスを受けながら競いました。

参加費の一部は、主催の株式会社明和クリーン 楠本隆文社長から三好市社会福祉協議会山城支所に、20万円が寄付金として手渡されました。



4.6 春色のダム湖で 吉野川の秘密を探る

吉野川の流れが大きく変わる池田ダム湖付近。その秘密をラフトボートに乗って探る池田ダム湖ジオラフトツアーが開催され、市内外から3名が参加しました。ツアーでは、ジオガイドが水質検査の実験やクイズなど、数百万年の大地の歴史を紐解いてくれました。

参加者は「ダイナミックな大地の変化を湖面から間近に見られて感動した」と日光の中のツアーを満喫しました。



3.31 辻駅～美濃田の淵 ウォーキングツアー

吉野川の南岸と北岸の歴史や暮らしの違いに着目しながら、井川町辻のまちなかと東みよし町の美濃田の淵を巡るウォーキングツアーに11名が参加し、約5キロのコースを散策しました。

いつもの見慣れた風景の中にも文化や暮らしが息づいて、辻の歴史や美濃田の淵の景勝についての辻町ガイドやみよしジオガイドの会員らの詳しい説明に、参加者は満足そうでした。



3.31 迫力満点の炎 夜空を染めて高原を焼き尽くす

春を運ぶ野焼きが標高1,043メートルの山城町塩塚高原で行われ、山頂での着火式典の後、午後6時に火が入れられました。

雨天により1週間延期された今年の野焼きは前日からの好天により順調に燃え広がり、地元のはたる会といちょう会のメンバーらが約20ヘクタールを焼きつくしました。

バチバチと轟音を立てて走るオレンジ色の炎は迫力満点で、訪れたたくさんカメラマンは盛んにシャッターを切っていました。



3.24 艶やかに酔いしれる 中村美律子さんコンサート

演歌歌手の中村美律子さんのコンサートが池田総合体育館で開催され、市内外から約500人が駆け付けました。

東大阪市で空調設備などを手掛ける株式会社大設の大西宏尚社長（井川町出身）が故郷を賑わせようと、中村さんに3年前から依頼し実現しました。

中村さんは艶やかで迫力のある歌声と軽妙なトークを披露。観客席の間を歩きながら歌い、会場を盛り上げました。



3.16～17 馬路 玉手箱展 珍しいモノが大集合

三好市馬路分館で普段展示する機会のない美術作品、懐かしいもの、珍しいものを持ち寄る展示会が地域主催で初めて行われました。（出品者45名、約270点）来場者約100人からは感動した、心が安らいだなどの感想があり、出品者からは見てもらえて嬉しいとの声が聞かれ、楽しい交流の場となりました。

展示会の様子は、インターネット検索でご覧いただけます。「馬路玉手箱展」



4.9 全国大会出場へ 池田高校本校レスリング部

横浜で開催されるJOCジュニアオリンピックカップ大会全日本ジュニアレスリング選手権大会に出場する池田高校本校レスリング部の選手が、三好市役所で高井市長を表敬訪問しました。

今大会には6選手が出場し、「優勝を目指し、良い報告ができるよう頑張ります」と決意を述べ健闘を誓いました。市長からは「目標が達成できるよう頑張ってください」と激励と目録が贈られました。



4.12 チームで挑み交流深める 池田高校本校がラフティング体験

初夏を思わせる日差しの中、池田高校本校1年生が池田ダム湖でラフティングを体験しました。新入生の親睦を図るため実施され、1年生全員の153名が参加しました。8人ずつのチームに分かれ、湖面に浮かべた目標のブイで折り返すレースにみんなで協力しあい挑戦。何艇ものラフトがぶつかって歓声を上げたりしながら、チームワークを発揮していました。



3.31 ラリーチャレンジin三好 巧みなドライビングスキルで観客を魅了

ラリークラブつるぎが主催する自動車ラリー大会が三野健康防災公園の特設コースや林道などで開催されました。全国から出場した34台のドライバーは砂煙を巻き上げながら培った運転技術を披露し、3000人の観客を楽しませました。同時に行われたイベントでは、キッチンブースや車両の展示コーナーなども設けられ、自動車ファンなどで賑わいました。